

# 第1学年 国語科学習指導案

対象 1年1組 男14名, 女14名 計28名

指導者 相原 友子

1 単元名 くらべてよもう

教材名 主教材 「じどう車くらべ」 (光村図書 こくご1年下)

補助教材「くらべてみよう はたらくじどう車」シリーズ (金の星社) 他

## 2 単元について

### (1) 児童について

本単元にかかわる既習事項についてどの程度身に付いているか確認するため、事前テストを行ったところ、次のような結果となった。

絵を見て乗り物の名前を書く。	バス…100%(28人) 乗用車…0%(0人)[自動車4人(14%), 車24人(86%)] トラック…82%(23人) クレーン車…36%(10人) はしご車…18%(5人)[消防車68%(19人)] その他知っている乗り物[パトカー・ショベルカー・救急車・ブルドーザー・タクシー・スポーツカー等]
問いと答えの文を見付けることができる。 (既習『くちばし』)	問いも答えも分かる…61%(17人) 問いだけ分かる…4%(1人) 答えだけ分かる…14%(4人) 曖昧・分からない…21%(6人)
書いてある内容の大体をつかむ。 (既習『くちばし』)	85%以上…82%(23人) 60～85%…14%(4人) 60%未満…4%(1人)
書いてある内容の大体をつかむ。 (未習『ふね』の読み物教材から)	85%以上…61%(17人) 60～85%…11%(3人) 60%未満…28%(8人)

学級の児童は、交通量の多い地域に住んでいるため、日頃からいろいろな乗り物を目にする機会が多く、乗り物の名前もよく知っている。しかし「車」「自動車」という呼び名は馴染みがあるが、総称としての「乗用車」については、聞き慣れない言葉であることが分かる。また、説明文の中から「問い」と「答え」を見付けること、内容の大体をつかむことは6割程度の児童ができており、過去の学びが少しずつ定着してきているものの、まだ完全ではなく、何が書いているかよく分かっていない児童も数名いる実態といえる。

本単元では、学習のゴールとして「じどう車カード集にまとめる」という言語活動を設定する。児童は、繰り返される文章構成の楽しさを感じながら、仕事内容に伴う自動車のつくりの変化に興味をもって読み進めることができる。読み取ったことを動作化したり、挿絵に書き込み確認したりすることで、理解や関心も深めやすい。カードにまとめることを通して、楽しく主体的に読み、説明文の組立や述べられている内容をとらえる力を付けさせたいと考え、この単元を設定した。

### (2) 教材について

本単元を中心とする指導事項は、読むことイ「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」、読むことエ「文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」である。

これまで児童は、一学期に「くちばしクイズをつくろう」で、二学期前半には「うみのいきものずかんをつくろう」で、「問い—答え」の文型、順序や主語を考えながら内容の大体をつかむこと等を学び、写真や絵も手掛かりにしながら読んできた。

本教材は、低学年の時期に興味・関心の高い「じどう車」に焦点を当てた説明文で、児童が自動車の仕組みに驚きや関心をもって読み進めることができる。「自動車のしごととつくりの関係を考えながら、大事な言葉に気を付け大体を読むこと」、「説明文と挿絵を参考にして、簡単な組み立てを考えて自動車のしごととつくりを説明するカードにまとめること」が指導の中心となる。

バスや乗用車、トラック、クレーン車などの働く自動車が例として取り上げられ、どの児童もそのつくりの工夫に新鮮な驚きをもって読み進められるであろう。また、その説明の仕方は、どれも「しごと」・「つくり」の順序で書かれており因果関係が感じられる説明の仕方になっている。同じ構成の文章が繰り返されることで、児童は、説明文の組み立てに気付くことができると考える。さら

に、自動車はどれもそれぞれの「しごと」と「つくり」になっていることに気付かせるために、「そのために」という接続語にも注目させるようにする。そして、学習したことを生かし、自分たちで自動車を選び、主体的に読み取りカードにまとめることで、目標とする力を付けていくことができると考え、この教材を設定した。この教材は、対比して違いを考えながら読む『どうぶつの子ちゃん』や、二年生一学期の順序や理由を表す言葉に着目しながら読む『たんぽぽのちえ』につながっていく。

### (3) 指導について

本単元では、自動車の「しごと」や「つくり」といった事柄の順序などに気を付けながら読み、自動車カードに大事な言葉を書き、自分だけの自動車カード集にまとめることを学習のねらいとする。

始めに、教師が用意した様々な自動車の絵やおもちゃの車、自動車カードの見本を見せ、知っていることを話し合わせる。これにより児童の興味・関心を高めたい。終わりには、自分で好きな自動車を選んでカードを書き、自分だけのカード集にまとめ、学級で見合うことを知らせ、そのためにそれぞれの自動車について読み進めるという目的意識と、友達に見やすく分かりやすくまとめるという相手意識をもたせたい。

「しごと」と「つくり」を関連させて読み取るために、色分けをしながらサイドラインを引いて整理させたり、絵と言語を対応させて書き込みをさせたりする。そして、それをもとにして順序を考えながらカードにまとめるようにする。できたカードには、この「しごと」のため、こんな「つくり」になっていると、他の自動車との違いも発見しながら読み進められるようにし、本単元のねらいに迫らせたい。

## 3 単元目標

### (1) 国語への関心・意欲・態度

- ・自動車カードにまとめるために、いろいろな自動車の説明文や図鑑を進んで読もうとすることができる。

### (2) 読むこと

- ・「しごと」と「つくり」の関係を考えながら内容の大体を読むことができる。
- ・それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」の大事な言葉を書き抜き、カードにまとめることができる。

### (3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ・長音・拗音・促音などの表記や、句読点を正しく使って書くことができる。

## 4 指導と評価の計画

次	時	学習内容	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
一	1 3	知っている自動車について話し合う。 範読を聞いたり音読したりし、感想を交流する。問いの文を確認する。 自動車カードの紹介を見聞きし、カード作りの意欲をもつ。 学習課題・計画を立て、学級での自動車カード集展示会までの見通しをもつ。 新出漢字・新出カタカナを学習する。	自動車について知っていることを話したり聞いたりしている。 関係する本を読もうとしたり、カード集にまとめていこうとしたりしている。		
二	4	バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を読み取り、自動車カードにまとめる。	自動車カードを作るために、文章を進んで読もうとしている。	文章の中の大事な言葉を抜き出し、バスや乗用車について書かれた大体の事柄や、「しごと」と「つくり」を読み取っている。	長音・促音などの表記や句読点を正しく使って書いている。
	5	トラックの「しごと」と「つくり」を読み取り、自動車カードにまとめる。	自動車カードを作るために、文章を進んで読もうとしている。	文章の中の大事な言葉を抜き出し、トラックについて書かれた大体の事柄や「しごと」と「つくり」を読み取っている。	長音・促音などの表記や句読点を正しく使って書いている。
	6 [本時]	クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取り、自動車カードにまとめる。	自動車カードを作るために、文章を進んで読もうとしている。	文章の中の大事な言葉を抜き出し、クレーン車について書かれた大体の事柄や、「しごと」と「つくり」を読み取っている。	長音・促音などの表記や句読点を正しく使って書いている。

	7	はしご車の「しごと」と「つくり」を絵と文章から読み取り、自力解決への橋渡しをする。	自動車カードを作るために、文章を進んで読もうとしている。	大事な言葉を抜き出し、はしご車の「しごと」と「つくり」を自分で読み取っている。	長音・促音などの表記や句読点を正しく使って書いている。
三	8 5 12	⑧～⑩自動車カード集に取り入れたい本を選んで付箋紙を貼る。付箋紙を付けた中からまず一台選び、「しごと」と「つくり」についてメモしながら読み進める。 ⑪大事な言葉を抜き出しながら、カードを仕上げる。読み返したり、ペアで対話したりして、手直しをする。(挿絵はコピーを使用) ⑫学級で、自動車カード集を見合い、びっくりしたこと、友達のすごいなあと思ったところ、自分のがんばったところ等を伝え合うと共に、単元全体を振り返りまとめをする。	自動車カード集にまとめるために、自動車について説明した本を選んで進んで読んでいる。	自動車の「しごと」と「つくり」についてカードにまとめるために、順序や大事な言葉に気を付けて読んでいる。  友達の自動車カード集を、内容の大体を理解しながら読んでいる。	長音・促音などの表記や句読点を適切に用いて書いている。
小2		「植物のちえポスター」をつくるため、順序や大事な言葉に気を付けて植物について書かれた本や図鑑を読む。 [じゅんじょに きをつけて よもう] 『たんぼぼのちえ』	時間の順序に沿って、説明的文章を読もうとしている。	季節を表す言葉、日にち、時間を表す言葉に着目して読んでいる。大事な言葉や文を書き抜き、感じたことや思ったことを書き添えている。	順序を表す言葉を理解している。 理由を表す文末表現に気付いている。

## 5 本時の指導

### (1) 目標

クレーン車の絵や説明の文章から、「しごと」と「つくり」を関連させながら読み、自動車カードにまとめることができる。

### (2) 評価規準

評価の観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	じどう車カードをつくるために、文章を進んで読もうとしている。
読む能力	クレーン車の文章から大事な言葉や文を書き抜き、「しごと」と「つくり」を関連させながら読み取っている。
言語についての知識・理解・技能	長音・拗音・促音などの表記や、句読点を正しく使って書いている。

### (3) 展開

段階	学 習 活 動	●指導上の留意点 ◎評価
導 入 5 分	1 前時の想起	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習計画とゴールを簡単に確認する。</li> <li>●「バス」と「トラック」の「しごと」と「つくり」について確認する。</li> <li>●「そのために」を使って、「しごと」と「つくり」を結び付けていることを確認する。</li> </ul>
	2 課題の確認	
	3 課題解決の見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サイドラインを引いたり、文章と挿絵を突き合わせ、挿絵に書き込んだりしながら、大事な言葉に注目して読み取っていくことを確認し、見通しをもたせる。</li> </ul>
展 開	4 課題の解決 (1) クレーン車の文章を音読する。 (2) クレーン車の「しごと」と「つくり」にサイドラインを引く。 (3) なぜこんな「つくり」になっているか、考えたことを話し合う。 ・ペアで対話する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●課題解決を意識させ音読させる。</li> <li>●既習事項を踏まえ、「しごと」は赤、「つくり」は青のサイドラインを引かせて整理させる。</li> <li>●ペアで交流する際には、この「しごと」をするために、こんな「つくり」になっていると、読み取ったことや考えたことを聞き合い理解を深める。</li> </ul>

<p>展開 35分</p>	<p>・全体で交流し、読みを深める。</p> <p>5 まとめ (1) 読み取った「しごと」と「つくり」をカードにまとめる。 (2) ペアで読み合い確認し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「しごと」と「つくり」を関連付け、内容を理解して読めるように、補足説明をしながら全体で交流させる。挿絵に書き込みながら読むことで文章と結び付けさせる。</li> <li>●トラックやバスとの違いや似ているところを比べながら読み、さらに深く内容をつかむことができるようにする。</li> <li>●クレーン車の腕については、指示棒で絵の具体的部分を示したり、動作化を取り入れたりして、より内容を理解させるようにする。</li> <li>◎「しごと」と「つくり」を関連させて読み、カードにまとめながら書いている。(じどう車カード)</li> <li>●読み返したり、誤字脱字に気付いたりする中でよりよいカードになっているか確認する。早いペアは、絵に色を塗って待つ。</li> </ul>
<p>【じどう車カード 記入例】 <b>おもいものをつり上げる</b>しごとをしています。 そのために、<b>じょうぶなうで</b>がついています。<b>しっかりしたあし</b>もついています。</p>		
<p>終末 5分</p>	<p>6 振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「しごと」に合った「つくり」になっていること、読み取るときは説明する言葉に着目することを確認する。</li> <li>●クレーン車を他の車と比較して読み取っている児童、新たな発見があった児童を取り上げて紹介する。</li> </ul>
<p>【振り返り 例】・カードに「しごと」と「つくり」を見つけて書くことができました。 ・「しごと」に合わせた「つくり」になっているのに気付きました。 ・バスに比べて 座席が狭いことが分かりました。 ・重い物を吊り上げるとき、車体が傾かないように、丈夫な足が付いていると気付きました。 ・□□さんが、クレーン車の「うで」の部分を詳しく教えてくれたのでよく分かりました。</p>		
<p>7 次時の確認</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●次時学習する事を確かめ、意欲をもたせる。</li> </ul>

(4) 板書計画

